

Y15a すばる望遠鏡における世界天文年への取り組み

林 左絵子、布施 哲治、臼田一佐藤 功美子、青木和光、柏川 伸成、高梨 直紘（国立天文台ハワイ観測所 広報室）

2009年は世界天文年であることに加えて、すばる望遠鏡も10周年という大きな節目にあたるため、広報活動が注目されやすい。関係者のいっそうの理解を得るべく、ハワイ観測所広報室として情報提供、見学案内、遠隔授業などの基本的なサービスの充実に努めるとともに、下記のような特別事業を企画・実行している。

日本側ではこれまでにすばる望遠鏡で得られた天体画像集の編集を行っている。

ハワイではマウナケア天文台群の一員として”Around the World in 80 Telescopes(Live 24-hour webcast from astronomical observatories)”（4月に実施）”400 Years of the Telescope”を含むプラネタリウム・プログラムへの協力（主に取材・撮影対応、素材提供）（地元の科学館などを会場とする）所長特別講演会（すばるの当番は9月）に取り組んでいる。また、特に臼田一佐藤がリードする企画としてブロック・パーティー（山麓施設で周囲の天文台施設とともに合同オープンハウス）の準備を進めており、天文ポスター・コンテスト、マウナケアブランド・天文学トレーディングカード作成を行った。

この他に職員個人として行っているプロジェクトは一家に一枚ポスター（臼田一佐藤がリード、有志の協力および天文教材委員会監修）世界天文年であるということで特別に日本での講演会などへの講師派遣である。

テレビ会議システム（もしくはパソコンベースのシステム）による遠隔講演・遠隔授業の場合に、双方向性、実験の要素をどう取り入れるかという点で引き続き工夫を要している。